



校長室だより 足立区立第九中学校

第116号 令和元年9月3日発行 長塚琢磨



【期末考査まであと2週間！ 前期を締めくくる！②】

昨日は、久しぶりに全校朝礼で、体育館に全校生徒が揃う姿をみて、さすが九中生だと感じました。夏休み中は、サマースクールで頑張っている様子や部活動で全力を尽くす姿などを観ることができ、生徒たちをととても頼もしく思いましたが、全校生徒が体育館に集い、集中する姿に私も身が引き締まる思いがしました。



いよいよ、前期を締めくくる期末考査まであと2週間になりました。本気で、全力で取り組むからこそ目標を達成できます。修学旅行、文化祭や部活動等いろいろ大変だと思いますが、時間を上手く使いそれぞれの目標を達成してほしいと願っています。

【職業体験を新聞でも高く評価！】

7月にも紹介した第2学年の職業体験を、8月5日の新聞でも取り上げてくれました。特に、様々な場所に実際に行って「肌で感じる体験をしたこと」「自分の思いをしっかりとつこと」「その思いを伝えること」について高く評価していただきました。



生徒たちは職業体験を通して、働くことの意義など正しい職業観、言葉遣いや礼儀・マナーをはじめとした道德観や社会性を身に付け、自らの生き方を考えるよい機会としてくれたことをうれしく思いました。

【9月に贈る詩】

新たな気持ちで素敵なスタートをした生徒たちに、この詩を贈ります。

※NBAでバスケットボールの神様とも言われたマイケル・ジョーダンが話した言葉です。

人生で何かを達成したいと思うときは、

積極的かつ、攻撃的に

ならなければならないと僕は自覚している。

目標を決めたら、

それに向かってひたすら努力するだけだ。

何かを達成しようとする場合、

受身の姿勢では絶対に達成する」とは

できないと確信している。

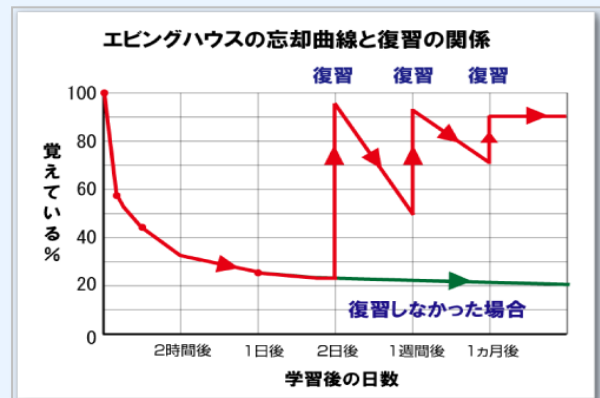
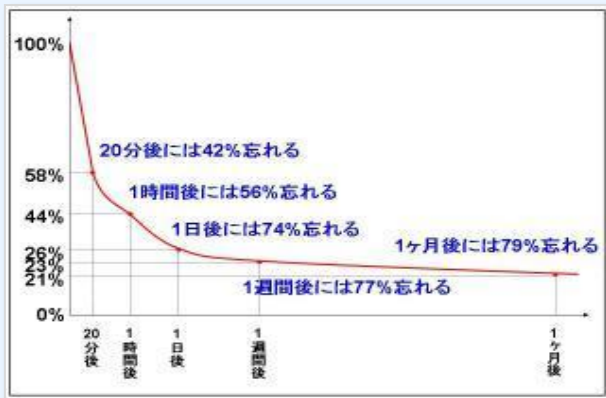
マイケル・ジョーダン

情報提供〔夏休みに教育講座で学びました。〕

家庭学習等の必要性

下の図は、エビングハウスの忘却曲線というものです。一度学習してしっかり覚えたと思っても、時間が経つとともに忘れていくことを示しています。しかし、何回も繰り返し復習することで学力が確実に身に付いていくことも分かります。

また、全国学力・学習状況調査結果から、平日の家庭学習（塾や図書館等での勉強を含む）時間と学力調査の成績に深い関係があるようです。授業以外に家庭学習等で自ら学ぶ習慣を身に付けることが、確かな学力の定着に繋がることが分かります。学校でも指導してまいりますので、ご家庭でも生徒にアドバイスするなど、ご協力よろしくお願いたします。



家庭学習等の推進〔やる気を育てる保護者の関わり〕

1 小さな成長を認め、ほめて、励まして、やる気を育てましょう

「努力した」「進歩した」の声かけは、自尊感情・自己肯定感を高め、学習意欲を向上させる。

2 早起きと朝ごはんは身体も心も元気にスタート

「朝日を浴び、朝ごはんを食べて脳にエネルギーを！」規則正しい生活こそ学びの基本です。

3 家族の対話を進めましょう

子どもが頑張りや困り感が分かります。また、保護者の体験談や悩みを話すことで、子どもは安心するとともに、学びが深まります。

4 1日の生活リズムを整えましょう

正しい生活リズムは、健康と心の安定につながります。時間の上手な使い方が大切です。

5 指示ばかりではなく、自分で考えさせましょう

「自分のために学ぼうとする」「分からないことは自分で調べる」自立心を育てましょう。

6 「ありがとう」の言葉で安定した豊かな心を培いましょう

子どもに対して感謝し共感することで、感謝の心をもつ豊かな人間性を育てましょう。

7 努力する親の姿が子どもの手本になります

大人が自らの行動で示し、努力することの大切さを教えましょう。親を見て子は育ちます。

※ 日常的な家庭学習時間等の目安

「第1学年は60分」「第2学年は90分」「第3学年は120分」は必要でしょう。